学校だより

㊫ はちの子

令和３年５月１３日
Ｎｏ．５
柏市立富勢西小学校
校長　伊藤　嘉章

第１回避難訓練を行いました！

5月10日（月）第1回避難訓練を行いました。今回の目的は，新しい教室になったため，正しい避難経路を覚えて，すばやく避難できるようにすることです。１年生は，小学校生活で初めての避難訓練でしたが，初めてとは思えないくらい，素晴らしい態度で取り組めました。

「備えあれば憂いなし」という言葉を知っていますか。「備え」とは準備ということです。「憂いなし」とは，心配はいらないということです。何か事件や事故，火事や地震が起こる前から予想して，それに対する準備，今日のような避難訓練をしっかりしておけば，心配はいらない，大丈夫という意味です。そのためには，避難する時の約束をしっかり守ることが大切なのです。約束を確認します。

「おはしも」つまり「おさない　はしらない　しゃべらない　もどらない」ですね。このことが全員でできた時，避難訓練がきちんとできたことになります。本当に激しい地震が起きた時は，一人でも「おはしも」を守らない人がいると，大きな事故につながってしまいます。

「備えあれば憂いなし」，これからも普段から落ち着いて生活しましょう。

GIGAスクール　Chromebookの活用

4年生はオンラインドリルを使い，適用問題や振り返りを行いました。わからないところは，隣の席の友達に教えてもらい，解決しながら問題を解いていきました。

＜お知らせ＞　漢字検定　第1回7月2日（金）15:30～16:30　校内申込締切日5月18日（火）
裏面　令和3年度学校経営ビジョン（グランドデザイン）5月10日改訂版

3つの密，絶対避けてください！　密閉（みっぺい）・密集（みっしゅう）・密接（みっせつ）

令和３年度学校経営ビジョン（グランドデザイン）　５月 10 日改訂版

学校教育目標「生きる力」のある児童の育成　確かな学力・豊かな心・健やかな体

目指す学校像　信頼される学校　安心・安全・きれいな学校　挨拶が交わせる学校　元気に生活できる学校
目指す児童像　知識や経験をもとに学び続ける児童（知）自分も，相手も，大切にできる児童（徳）
心身ともにたくましい児童（体）
目指す教職員　児童や保護者から信頼される教職員
思いやりがあり，児童に寄り添える　共に学び，共に遊び，共に考える

『希望の登校　満足の下校』
キャッチフレーズ　「元気いっぱい　夢いっぱい　笑顔あふれる　富西小」
生徒指導　合い言葉「と・・・ともだちだいすき　み・・・みぎがわほこう　に・・・にっこりあいさつ　し・・・しっかりそうじ」

１　研究主題　学び合い，学び続ける児童の育成　～算数指導の授業改善～

目指す児童像（算数科）

・低学年「自分の考えを発表できる子，質問できる子」　中学年「自分の考えをわかりやすく説明できる子，質問できる子」
高学年「自分の考えを順序立てて説明し，質問できる子」

柏市ＧＩＧＡスクール研究校

・児童一人一人が「誰かに教えてもらう」だけでなく「自分で学びを進める」ことができるように，一人１台の iPad 及び Chromebook を活用した学びを充実させる。

学習者用デジタル教科書実証事業

・「学習者用デジタル教科書」の積極的な活用を図り，教育効果を検証するとともに，課題等を抽出し，課題の解決策を実証的に明らかにする。

２　学習の基盤となる資質能力（言語能力，情報活用能力，問題発見・解決能力）の育成

・児童が他者と協働して自他の考えの共通点や相違点を捉え，考えを広げ深めることができる学習の実施（関わり合う力 Communication　協働）
・児童が体験的な学習や繰り返し学習，資料等を活用し自分の考えを書いたり話したりできる学習の実施（自律する力 Control　主体性）
・児童自ら課題設定できる指導計画の作成　＊下線は柏で育む「４つのＣ」（富勢西小重点項目）

・地域を学びの場にした学習の実施
令和３年度末目標　学校，保護者，地域が協働で児童を育成する体制ができる。
目指す姿　・学校，保護者，地域が課題を把握し解決していくために，お互いに意見を出しあい動き出す。
・学校行事等に地域の人材を体系的に位置づけた教育課程を編成し動き出す。

３　学校経営計画の重点目標を具体化する

重点目標（１）生涯にわたり学び続ける基礎を培う

・全校自主学習ノートの実施（全学年実施）
・小中学校連携教育の推進（児童会・生徒会のあいさつ運動）
・学校図書館指導員の週４日配置，理科教育支援員の週４日配置
・ＧＩＧＡスクールサポーターの週１日配置
・ＧＩＧＡスクールＩＣＴ支援員の週３日配置
・小学校外国語授業支援員の週１．５日配置，ＡＬＴの年間３７日配置
・教育支援員の週５日，週２．５日配置

重点目標（２）安心・規律・活気のある学び合いの場をつくる

・プログラミング教育の校内研修を実施
・令和元年度からノーチャイムを実施
・全校プリント学習「Math Quest」
・がんばりテスト　年５回実施
・漢字検定及び算数検定の実施（希望者）年２回実施
・体力づくりの実施（キャッチボール，サーキットトレーニング，リズム縄跳び）
・ステップアップ教室（水曜日の放課後，２・３年生対象）
・辞書引き学習
・夏休み算数教室（県立柏高校生徒来校）
・ノー部活動デー（毎週水曜日）
・教育ミニ集会の実施
・いじめの早期発見（生活アンケートの実施　学期２回）
・スクールカウンセラーによる教育相談，教育相談箱ポストの設置と活用

重点目標（３）学校の組織力・教職員の力量を高める

・校内研修で学団一人一授業を実施（９月，１１月，１月を予定）
・外部講師の招聘による不祥事根絶研修会（８月２０日を予定）
・児童虐待対応リーフレットを活用した研修を実施
・学校評価結果をもとにした教育活動の改善
・児童の実態や興味関心を基にした教育課程の編成
・柏市研究指定校（算数科）（令和２年度～令和４年度）
・東日本小学校管楽器研究大会授業発表校 11 月 26 日（金）

重点目標（４）家庭・地域に根ざした学校をつくる

・学校だよりの毎週発行
・正門の登校指導，ＰＴＡによる登校時の旗振り，スクールサポート隊との協働活動
・学校運営協議会（富学協）
・富勢地域ふるさと協議会，青少年健全育成推進協議会，町会との協働活動
・三世代ふれあい体育祭，サマーキャンプ，富勢地域音楽発表会，八期相撲大会
・学校支援ボランティアによる学校支援（花，トイレ，読み聞かせ）
・地域交流（全学年）
世代間交流教室（ザ・わくわく）富勢地域ふるさと協議会福祉事業部
１年（七夕飾り・お正月の遊び）２年（体育館でダンス・ゲーム）３年（学区探検）
４年（グランドゴルフ）５年（サロン・昔の遊び）６年（感謝のお手紙）
・ときわぎ祭
・きずなプロジェクト in ナイトスクール（５，６年）
・ふるさと散策（全学年）

４　学校評価（別添資料）